スタートアップ・エコシステム形成支援　採択プラットフォーム紹介

令和4年度開始～令和8年度終了予定

プラットフォーム名：（令和6年7月時点）
Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem

参画機関

主幹機関：九州大学、九州工業大学 共同機関：FFGベンチャービジネスパートナーズ、長崎大学、北九州市立大学、佐賀大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、九州産業大学、久留米大学、第一薬科大学、福岡大学、福岡工業大学、山口大学、立命館アジア太平洋大学、沖縄科学技術大学院大学学園　幹事自治体：福岡市、北九州市

目指すスタートアップ・エコシステム

「オール九州・沖縄でアジアとつながるスタートアップ・エコシステムの創出」

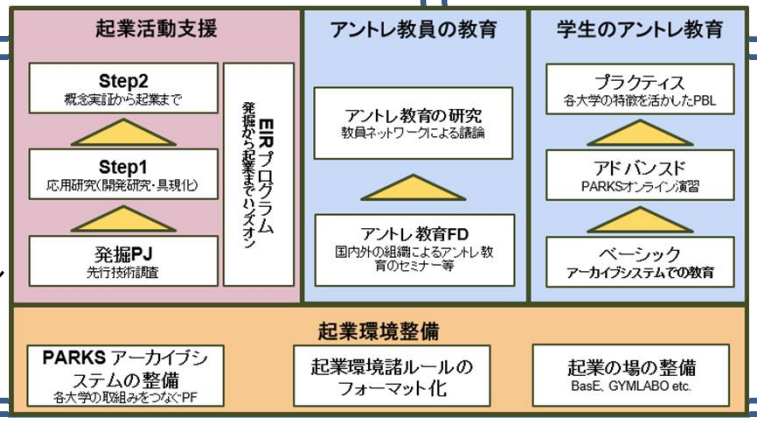
九州・沖縄という地域にあるべき、かつ顧客志向で業界改変を実現可能なベンチャーを持続的に創出していくために、拠点都市である福岡市、北九州市をモデル都市に、また九州・大学発ベンチャー振興会議との密な連携のもと、アントレプレナーシップ教育から起業支援までを一気通貫で実施していく。令和8年度末には、独自のVCやPoCファンドの運用を行うPARKSインターユニバーシティ設立を目指す。

（1）起業活動支援プログラムの運営

・令和8年度末までに155社の起業を目指す。
・Step1、Step2の2つのステップで起業活動支援プログラムの提供する。なお、令和6年度は、「大学発新産業創出基金事業　スタートアップ・エコシステム共創プログラム」において起業活動支援プログラムの提供を行う。
・起業活動支援プログラムを提供するシーズの選考はVC関係者等外部委員で組織された審査委員会で実施する。
・各大学のURAやCXO人材候補等の配置によるハンズオン支援を実施する。
・終了後は、Demodayや拠点都市の施策へのシームレスな接続を実施し、PARKSからの持続的なスタートアップ創出を実現する。

（2）アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

①アントレプレナーシップ教員の教育として、
・先進的な国内・国外の組織と連携してFDを実施する。
・PARKSアントレ教員ネットワークを構築しFDの内容を踏まえたアントレ教育の研究を行い、参加大学においてアントレ教育を実施する教員を育成する。
②学生のアントレプレナーシップ教育として、
・アーカイブシステムを利用した、動機付け・意識醸成を行う教育を実施する。
・オンライン演習を実施し、コンピテンシーの形成を目的として教育を実施する。
・各大学の特色を活かしたPBL等を実施し、社会実装につなげる。
・令和8年度末には12,000人／年の受講者数を目指す。



（3）起業環境の整備

プラットフォーム内で①各大学の取組をつなぐPARKSアーカイブシステムの運用、②起業環境諸ルールのフォーマット化、③各拠点の起業環境をICTツールによるネットワーク化によりオール九州・沖縄一体でスタートアップ・エコシステムを創出するための環境を整備する。

（4）拠点都市のエコシステムの形成・発展

・5つの運営機関が中心となり、九州・沖縄が一体となったPARKSプラットフォームの運営を推進する。
・福岡市・北九州市の両スタートアップ・エコシステム拠点都市をモデル都市として、PARKS全体にスキル・ノウハウを展開する。
・アジアのVCとも連携を行い、アジア展開も見据えた支援を実施していく。

活動成果

（起業活動支援プログラムの運営）令和5年度は、主に発掘PJで先行技術の発掘を実施した。
（アントレ人材育成プログラム開発・運営等）令和5年度は、それまでの取り組みに加えて、海外派遣プログラムを実施した。シンガポールと台湾に学生を派遣し、スタートアップ関係者との交流などを行った。
（起業環境整備）PARKSをインターユニバーシティ的に運営するためのICTツール（チャット、クラウドフォルダ）の整備、起業に関する規定の整備状況の調査を行った。
（拠点都市のエコシステムの形成・発展）毎週の運営会議、毎月の運営連携会議をもとにPARKSの運営を推進。PARKSシンポジウムを開催し、大学・自治体・省庁・金融機関・VC等から350名程度の参加者があった。海外エコシステムとの連携のため、台湾・シンガポール等を訪問し、調査した。